

【記入要領・記載例】

配置予定の技術者に係る調書

《当該工事に配置予定の主要技術者の資格及び工事経歴等》

技術者区分		現場代理人	主任技術者／監理技術者
配置予定者の氏名		水道 太郎	同左
所属会社名		㈱坂鶴建設	
生年月日		昭和 43年 5月 1日生	年 月 日生
最終学歴		坂戸大学 土木工学科 平成3年卒	
法令による 資格等		(資格名) 一級建設機械施工技士	(資格名)
		(取得年月日) 平成10年 5月 1日	(取得年月日) 年 月 日
		(登録番号等) 第 00000001号	(登録番号等) 第 号
		(資格名) 一級管工事施工管理技士	(資格名)
		(取得年月日) 平成12年 5月 1日	(取得年月日) 年 月 日
		(登録番号等) 第 00000001号	(登録番号等) 第 号
現在担当工事	工事名	現在担当の工事はありません。	
	発注機関		
	施工場所		
	契約金額		
	工期	年 月 ～ 年 月	年 月 ～ 年 月
	従事役職名		
工事経歴	工事名	〇〇工事	
	発注機関	〇〇市 水道部	
	施工場所	〇〇市△△番地先～〇〇市△△番地先	
	契約金額	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円	
	工期	令和 4年 6月 ～ 令和 4年 12月	年 月 ～ 年 月
	従事役職名	現場代理人	
	工事名		
	発注機関		
	施工場所		
	契約金額		
	工期	年 月 ～ 年 月	年 月 ～ 年 月
	従事役職名		
	工事名		
	発注機関		
	施工場所		
	契約金額		
	工期	年 月 ～ 年 月	年 月 ～ 年 月
	従事役職名		

☆契約締結日(6月19日予定)から配置できる方を記載して下さい。

☆技術者は、管工事業又は水道施設工事業及び舗装工事業における監理技術者(主任技術者)の資格要件を満たす方としてください。

例1)一級土木施工管理技士

例2)一級建設機械施工技士  
+  
一級管工事施工管理技士

☆現場代理人と主任技術者、監理技術者は兼務できます。

☆現場代理人について、他の工事(企業団が発注した工事を除く。)との兼務を希望する場合は、常駐規定緩和に係る照会兼回答書(様式第1号)も併せて提出してください。

☆下請契約を締結し、その契約額が政令で定める額を超える場合は、特定建設業の許可が必要になるとともに、主任技術者に代えて「監理技術者」となります。

☆工事経歴については、なるべく水道工事の経歴を優先して記入して下さい。

☆また直近で担当した工事についても記入して下さい。

☆3件分全ての記入は不要です。

☆CORINSの「登録内容確認書」は、工事名、発注機関、従事役職名等が確認できる部分の写しの添付をして下さい。

※法令による資格等が確認できる証明書及び資格者証等の写しを添付すること。

※工事経歴は、類似工事(同種)についての経歴を優先して記載すること。(直近のものから。)

※経歴が確認できるCORINS「登録内容確認書」の写しを添付すること。